

PRESEPIO

これはヨーロッパのカトリック系の国でクリスマスになると、各教会の祭壇付近に飾られるキリスト降誕の場面を表現した伝統的な模型です。

通常は、背景の山や川、夜空や遠い家並みなど、毎年何か月も前から少しずつ、手作りで準備されます。地方によっては家庭内でも飾られたり、特別な趣向を凝らすので有名な教会もあり、中には人間がその姿に扮して演劇を行う所もあります。イタリア語ではプレゼピオ (PRESEPIO)、フランス語ではクレッシン (CRÈCHE)、スペイン語ではナシミアント (NASCIMIENTO) と呼ばれています。

待降節 (聖夜から4週間前の日曜日 = 今年は 11/27) か、12月8日の聖母の祝日に入ると飾られ、翌年の1月6日には片付けられますが、『幼子イエス』は聖夜に初めて馬槽 (まぶね) の中に、『東方の三博士』は最後に登場します。日伊学院では12月25日は冬休みに入っているため、皆様にもご覧いただけるよう特例でラストシーンを飾りました。

素晴らしいクリスマスを迎えられるように！

渋谷外語学院 日伊学院



登場人物

- Benito (怠け者のベニート)
- Pizzaiolo (ピザ職人)
- Zampognaro (バグパイプ奏者)
- Fruttivendolo (果物売り)
- Bue (雄牛)
- Asinello (ロバ)
- San Giuseppe (聖ヨセフ)
- Gesù Bambino (幼子イエス)
- Santa Maria (聖女マリア)
- Filandaia (糸紡ぎをする娘)
- Viandante (旅人)
- Massaia al pozzo (井戸端の主婦)

- Re magio - Melchiorre (博士 メルキオツレ)
- Re magio - Baldassarre (博士 バルダツサツレ)
- Re magio - Gasparre (博士 ガスパツレ)

このプレゼピオは、ナポリ出身の Anna Esposito 先生から寄付していただいたものです。Benito や Pizzaiolo などの登場人物は、ナポリ地方のもので、背景などもナポリ式に作成していただきました。